

各 位

2024 年 1 月 29 日

ダイビル株式会社

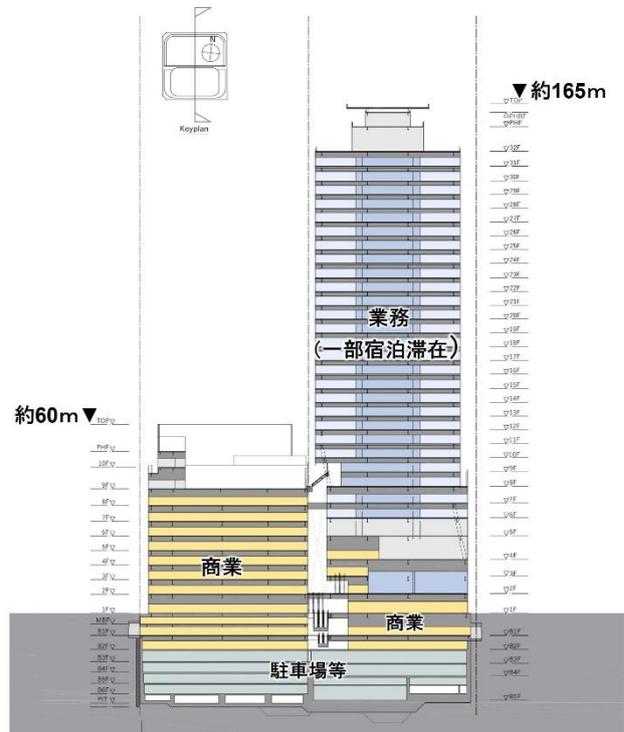
## 札幌駅南口「北 4 西 3 地区第一種市街地再開発事業」への参画のお知らせ

ダイビル株式会社（大阪市北区、代表取締役社長執行役員 丸山卓）は、札幌駅南口で進められている「北 4 西 3 地区第一種市街地再開発事業（以下「本事業」）」において参加組合員として選定され、本事業に参画することとなりましたのでお知らせします。

本事業への参画は、ダイビルグループ中長期経営計画 2035“BUILD NEXT.”における重点戦略のひとつである「国内事業戦略～再開発・街創り～」の一環として、2023 年 10 月 6 日に計画概要を発表した[札幌ダイビル再開発プロジェクト](#)に次いで札幌地区での投資第二弾となります。これにより札幌駅エリア、大通エリアといずれも札幌の主要エリアにアセットを保有することとなり、札幌中心部の賑わいと発展に一層寄与していく所存です。

今後も優良物件の取得に積極的に取り組み、“BUILD NEXT.”の推進に努めてまいります。

■完成予想パース・断面イメージ（現在計画中であり、今後変更となる可能性があります。）



## News Release

### ■本事業による都市再生への貢献

#### ①地下鉄さっぽろ駅の機能拡張と地下ネットワークの整備による札幌駅周辺の都市基盤強化

地下鉄南北線さっぽろ駅改修工事と本事業を一体的に進めることにより南北線さっぽろ駅機能の拡張を図るとともに街区内外をつなぐ地下歩行者ネットワークの整備により札幌駅周辺の交通利便性と回遊性の向上を図ります。

#### ②札幌都心のビジネス交流機能強化と賑わいを高める空間形成

札幌駅周辺の賑わい形成に寄与する商業施設とともに札幌のビジネス機能を先導する事業継続性の高い高機能オフィスと多様な働き方やビジネス交流を支えるオフィスサポート機能の整備を図ります。また、札幌駅前通・地下鉄コンコースについて、札幌駅と都心の賑わいの連続化を図ります。

#### ③札幌駅交流拠点の強靱化を先導するBCDの形成

札幌都心のCO2削減に貢献する環境負荷低減の取り組みを行うとともに、札幌駅交流拠点の強靱化を先導する業務継続地区（BCD：Business Continuity District）の形成を図ります。

### ■計画諸元

区域面積	約 1.7ha
敷地面積	約 1.1ha
延床面積	約 203,290 m <sup>2</sup>
高さ・階数	約 165m・地上 32 階、地下 7 階

### ■スケジュール

2019 年度	準備組合設立
2021 年度	都市計画決定
2023 年度	再開発組合設立認可
2024 年度	権利変換計画認可（予定）
2024 年度	工事着手（予定）
2028 年度	竣工（予定）

### ■位置図



以上